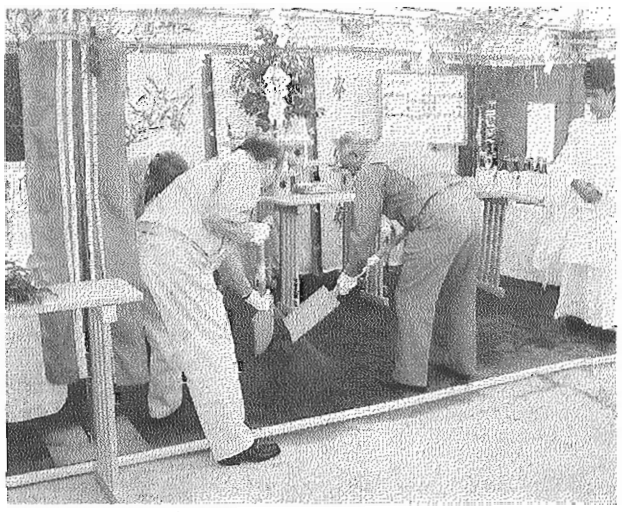
赤房トンネル安全祈願祭

工事の無事完成を祈る

赤房トンネル（仮称）の安全祈願祭は16日、大島郡住用村役勝の同トンネル坑口前で行われ、発注者の大島支庁、施工業者ら関係者が多数出席し、地鎮の儀等の神事で工事の安全を祈念した。

地鎮の儀ではまず川島健勇大島支庁長らが刈り初めを行い、河野吉博住用村長、元山三郎宇検村長らによる鍬入れの後、施工業者を代表して西松建設㈱九州支店の長淵建夫副支部長と㈱渡辺組の渡辺紘起代表取締役会長、㈱中村建設の尾﨑健一代表取締役が穿ち初めの儀を行った。また県建設業協会奄美支部の村上慎一郎副支部長ら各代表が玉串を捧げ無事故での完成を祈願した。



施工業者代表による穿ち初め＝住用村の現地で

赤房工区の全体計画は延長2100㍍（幅員8m、車道6m）、橋梁2本を備える。このうちトンネルは延長1133㍍で事業費は約23億円。工法はNATM。施工は西松建設㈱・㈱渡辺組・㈱中村建設特定建設工事共同企業体が請け負う。主要地方道湯湾新村線の役勝橋から新八津野橋に至る区間は、1車線で幅員が5㍍しかなく、車両の離合に困難をきたしていた。同トンネルが完成すると所要時間が5分から2分に短縮され、曲線数も26カ所から4カ所に減る。安全祈願祭を終えたことで同トンネルは17年度末の完成を目指し、今後本格的な着工に入る。

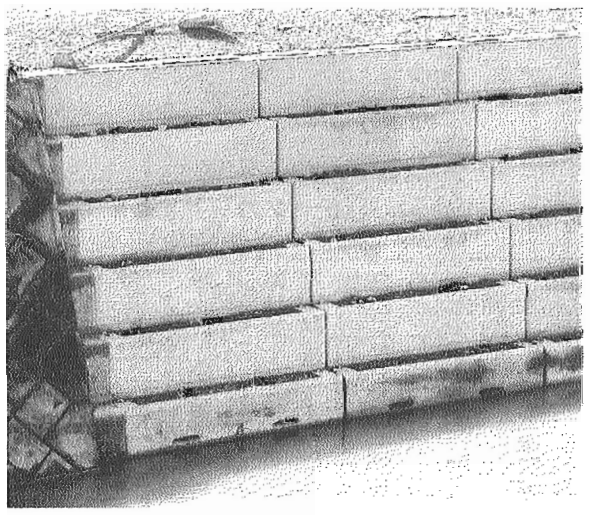
県積ブロック工組

マザーズロックⅡ・鹿児島型

大幅にコストを縮減

県積ブロック工業組合（境保全型ブロック（マザーズロック）を取り入れ、環境と治水を両立させるコンクリート護岸ブロックとして高い評価を得て、河川護岸工などで県下各地で実績を上げている。今回、さらに時代のニーズに応えるべく環境とコスト縮減を持ち合わせた「マザーズロックⅡ型（鹿児島型）＝写真＝」を考案し、同組合で製造・販売を開始した。

同製品は、客土、栗石流出などの問題点を解消し、約30％の大幅コスト縮減と安全な施工による工期の短縮を実現、根入ブロック、[illegible]



岸高5㍍、適用勾配は1：0・3～1：0・6となっている。環境機能は、水中や水際部は胴込材に栗石を使用し魚巣の機能を有し、客土部分を設けることで、在来種の植物繁茂が期待できる。

施工性ついては、製造物責任法の適用を受けた吊り金具、ワンタッチ式Vハンガーを使用すると共にブロックが自立するため据付時でのレベル調整が不要で据付時間が一段と短縮された。また、中詰・裏込コンクリートが不要なため、養生等の管理が省けてスピード化が図れる。カーブ施工は接続部が半回転軸のため、内外カーブ、R7㍍まで施工が可能である。

日置郡吹上町の湯之浦川施工現場では以上の件について、同組合で実績調査を行ったが、資料以上の好結果が得られ、施工担当者からも施工性の早さに好評が得られたことから今後の普及に自信を深めている。

同組合では、施工が完了した後の環境復元の状態まで管理することが必要であると位置付け、今後も施工現場の追跡調査を実施し、マザーズロックが「河川環境の整備と保全」の理念に合った真の環境保全型ブロックであることを実証していく。

詳しくは同組合ホームページ（http://www.satsuma.ne.jp/tsumiblock/）でも紹介している。

早い施工性も実現

ビル管理法を学ぶ

県ビルメン協会清掃者研修

県ビルメンテナンス協会は17日、鹿児島市のポリテクセンター鹿児島で15年度第2回清掃作業従事者研修を開き、関係者約145人が参加しビル管理法やビルメンテナンス業における廃棄物処理などについて知識を深めた。

研修では、県保健福祉部生活衛生課の山下光太郎技術主査や鹿児島市環境局清掃部ゴミ減量係の松元政治主査らが「ビル管理法と清掃」、「ビルメンテナンス業における廃棄物処理」などについて詳しく解説。参加者らは持参したテキストにチェックを入れるなど熱心に聴講した。

同協会の野村学事業委員長は「好感が持てる人間性の確立、プロにふさわしい知識・技術を習得することは、業界のレベルアップはもとより、顧客満足の向上にもつながる。今日の研修内容を十分理解して、今後の業務に役立ててほしい」と呼び掛けた。

なお、研修終了後には受講者全員に修了証が発行された。

今後の業務に役立てようと熱心に聴講する参加者＝鹿児島市のポリテクセンター鹿児島で

コベルコ

LK-Zシリーズ ホイールローダ5機種

排ガス規制に対応

コベルコ建機㈱（本社・東京都品川区）はこのほど、ホイールローダ「LK-Zシリーズ」の中・大型5機種をフルモデルチェンジし、LK310Z＝写真＝など「LK-Zシリーズ SEエディション」として新発

今回のモデルチェンジでは、2003年10月1日から国土交通省が導入した建設機械の排出ガス規制「排出ガス第2次基準値」をクリアした新型エンジンを搭載し、NOX（窒素酸化物）やPM（粒子状物質）などの排出量を大幅に低減している。その一方で、標準バケットの大型化や作業範囲の拡大などにより作業効率も高めている。

主な特長として、高出力エンジン搭載により、クラス最大級のけん引力、最大掘起力を実現。また、作業灯だけでなく前照灯にも高照度ハロゲンランプを採用し、夜間作業の効率を向上している。

このほか、オペレーターがベスト姿勢で快適に操作できるよう、テレスコピック・チルトステアリングと多調整式シートを採用、新フロン対応のフルオートエアコンも標準装備している。

さらに、環境対応として、インタークーラーを搭載した高出力・低燃費の排ガス2次規制対応型エンジンを全モデルに採用している。

問い合わせは、同社広報担当（☎03・5789・2112）まで。

ガイア航空が運航開始

リアル・オルソ画像製作

九州テクノリサーチ㈱（中原康社長、本社・鹿児島市）はこれまであった航空事業部を改組して、大阪航空局から10月1日付けで運行認可（阪空域免第1101号）を取得したのに伴い、新たに(有)ガイア航空を設立。「日本一小さな航空会社」として運航を開始した。

新会社の主な業務は、航空写真撮影やデジタル航空写真測量「リアル・オルソ」撮影による新構想の画像製作などのほか、取材・視察等のチャーターフライト、ヘリコプター操縦士の養成などを行う。「リアル・オルソ」は同社の商標登録名で、従来の航空写真測量の常識を覆す大縮尺で高品質、しかも製品価格が廉価なのが特長。

使用機はR22β型ヘリコプター（アメリカ製2人乗り）1機。基地は垂水市新城地内のTM場外離着場（略称・TMヘリポート）。運航・整備部長は渡邉徳雄氏。運航チーフ・植松正嗣氏、整備士・神谷武氏。

問い合わせ先は、同社鹿児島基地（☎0994・34・3389）まで。

9001・14001
ISOコンサルティング
－お気軽にご相談ください!!－
今別府産業㈱ ISOコンサルタント事業部
TEL (099)813-2662